

## 平成20年度農林水産大臣賞

### 『<sup>じんだい</sup>田沢湖牛銘柄確立推進組合(モートピア神代)』秋田県仙北市

#### 【むらづくりの経緯・動機等】

神代地区では、和牛の有機堆肥投入による米の食味等が評判となり、全国から引き合いが殺到しこだわり米（じゃんご米）の作付けが増加していた。しかし、その後の牛肉輸入自由化や生産者の高齢化等により、和牛飼養頭数の減少や堆肥散布が重労働なこともあり作付けが減少していたことから、このままでは牛も米も駄目になるとの危機感が増加していた。このため、生産者・流通業者・消費者が一体となり、地域農業や農村の活性化に向け行動するとの理念のもと、「モートピア神代」を設立された。

#### 【位置】



#### 【地区の概要】

田沢湖牛銘柄確立推進組合(モートピア神代)

項目	内容	
規模	集落	(25 集落)
性格	機能的な集団	
農家率 (内訳)	総世帯数	425 戸
	農家数	606 戸
販売農家数 (内訳)	専業農家	555 戸
	種農家	38 戸
	種農家	177 戸
	種農家	340 戸
主要作物 (作付面積)	水稻	1,019 ha
	野菜	27 ha
	畜産	- ha
農家率、販売農家数は、旧田沢湖町のデータ 主要作物は、仙北市のデータ		

#### 【推進体制】

モートピア神代は、生産者14名、都市部の消費者10名（お米屋）の24名で構成されており、主な活動は、肉用牛の生産、堆肥の生産と供給、ヘルパーによる畜産農家への支援、消費者との交流活動等を実施している。

### 【生産面への寄与状況】

繁殖牛育成のため、先進的技術の導入により低コスト・省力化が図られ畜産経営では県のモデルケースとなっている。また、後継者育成のための研修生を受け入れるとともに、畜産農家の労働負担を軽減させるためのヘルパー制度を実施している。

「じゃんご米」生産存続のため、都市部のお米屋さんがマニュアルスプレッター(堆肥散布機)を提供し農作業の労力軽減のための支援をするなど、良質で安定した堆肥供給が地元稲作農家からも高く評価されている。



### 【生活・環境整備面への寄与状況】

生産者と消費者との交流を広げるため「じゃんご倶楽部」を発足。県内外の会員へ生育状況やイベント情報を発信している。また、都市部で地元産米等の消費拡大のため



お米屋と協同でPR活動を展開している。また、里山を復活・開放することにより、地元住民の憩い・交流の場を提供。また、各種の都市農村交流のイベントを開催し秋田の自然や伝統行事、食文化等の良さを伝え好評を得ている。さらに、生産者間の団結のため農村部の古い行事である「さなぶり」や「やさら」を復活させるなど地域の活性化に繋がってる。